

課題に挑戦し持続的成長

佐藤渡辺 創業100周年記念祝賀会



佐藤渡辺は19日、東京都港区の東京プリンスホテルで創業100周年記念祝賀会を開いた。取引先、協力会社、日本道路建設業協会会員、役員OBなど273人が参加した。冒頭、あいさつした石井直孝社長は「12月20日をもって100周年を迎える。長きにわたり事業を続けてこられたのは、お客さまをはじめ、創業から現在までの社員、当社を支援してくれたステークホルダーの皆さんのおかげ」と感謝の言葉を述べた。

続けて「当社の経営信条は『社会の求めるものに応えることを通し、社会に奉仕する。このため会社はその存続発展をはかるに足る相応の利益を挙げる』、社是は『誠実・創造・最高の技術』であり、何事にも誠実に対応し、われわれの仕事は社会に奉仕することであるという精神は、創業以来脈々と受け継がれている。世界はいまだに紛争が起き、原油を輸入に頼るわが国は大きな影響を受けており、国内では少子高齢化に伴う担い手不足の問題など多くの問題を抱えているが、働き方改革に取り組み、生産性を向上

させて、魅力ある業界にしていかなければならない。DX（デジタルトランスフォーメーション）やGX（グリーン・トランスフォーメーション）への取り組みをはじめ、さまざまな課題があるが、それらに積極的にチャレンジし、持続的に成長する企業を目指すと力強く語った。

来賓として、斉藤鉄夫国土交通相、佐藤信秋参院議員、足立敏之参院議員が祝辞を寄せ、創業100周年という大きな節目を契機に、事業を一層充実して国民生活の安定と地域社会の発展に寄与することに期待を寄せた。

この後、渡辺忠泰会長の発声で乾杯し、祝宴に移った。

